



ティアマトを選ぶ

ドラコーを選ぶ

フン、貴様……

マスター  
余の所有物に何をしている

わたしは母だ  
母が子の世話をするのは当然

マスターも私が良いと  
言っている

勝手なことをぬかすでない

この人間は余のモノだ  
断じて貴様などには渡さぬぞ



じゃあ、勝負する  
マスターが、どっちのモノか……

いいだろう  
受けてたとうではないか

余と貴様のどちらが  
マスターを所有するに相応しいか……

此奴にハッキリと  
決めてもらうように

ん……んじめる、ずじめ  
じゅぷ、ぢゆる……んはあ♥

はーはー、んむ……  
じゅぷぷ、ぢゆる……ずるじゅ♥

んんっ……どうだ、マスター……  
母のお口の方が  
キモチいいだろう……??

ふん、余の方に  
決まっておろう

でいぢあひるでない、あつたぐ……

ヒキキキ

シヤッ  
シヤッ  
シヤッ

れろ、ちゆる……ぶはっ♡

んむ、ずるるっ……  
れる、れろっ……すっ……っ♡

マスターの……  
だいぶ固くなってきたな

それに、こんな大きく……♡

まったく……余の口に  
収まらぬぞ  
まこと人間とは思えぬな

だっ♡  
だっ♡

だっ♡  
だっ♡

だっ♡  
だっ♡

だっ♡  
だっ♡

どうした、もう限界か？

貴様のチ●ポ……  
ビクビクしてきたではないか……♡

うん、いそ  
そのまま、いって……♡

母の口で存分に  
イクといい……♡

ヒキキッ

シッポ  
ヒキキッ





ああっはあっ  
んんんっ……♡

んんんっ♡

んんんっ……♡

んんんっ……♡

んんんっ……♡

んんんっ……♡



はー、はー……  
たっぷり出したなマスター♥

母はうれしいぞ♥

ふん、当然だ

この余が手ずから  
してやったのだからな

まさに極上の味わいで  
あったろう♥

ドクドク…♥



……で、余と此奴の  
どちらが善かった？

……なに、決められない？

優柔不断は許さないぞマスター

そんな子に育てた覚えはない

まこと戯けた人間よ

であれば仕方あるまい……

次で決着を  
付けるとしよう

ド  
ロ  
♡  
♡  
♡



準備ができたぞマスター

さあ、どこからでも  
かかってきなさい

フザッ

フザッ

なぜ貴様が先陣を  
切ろうとしている

当然、此奴が先に選ぶのは  
余であるはずだ

この、余の……おま●こをな♡



ティアマトを選ぶ

ドラコーを選ぶ



んはっ、ああああっ♥  
ます、たっ……あああっ♥

んはっ……♥  
♥

んはっ

んはっ

はあっ、はあっ……  
マスタ、っ……んうんっ ♡

ちやんと、母を  
選んで、くれたな…… ♡

うれしいぞ……んんっ ♡

あっ ♡

あっ ♡

き、貴様っ

余にあれだけ  
尽くしていながら……

お、怒るぞっ……うんうんっ

あんっ、あっ、んああっ♡

マスターの、すごいっ……  
いつもより、はげしいっ……♡

お尻に、勢いよく  
打ち付けて、キテっ……♡

お尻♡

お尻♡



あっあ、もうダメだっ♡

いく、イクっ♡  
マスターの、チ●ポっ♡

子宮に、押し付けられてっ……

あっん、あっ♡  
にげ、られないっ♡

いん、いん♡  
おま●ん♡  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡





ふあ、はあ……  
流石だなマスター

2回目でも  
こんなに出して……

やっぱりマスターは  
私が一番のようだな♥

そ、そんなフケがあるか!

次は余の番だ

貴様が味わった程度の快樂なぞ  
この余が軽く塗り返してやるっ!



(あつ、マスターの……♡  
まだ、あんなにおつきく……)

(あ、あれが余の中に……)

(そ、想像しただけで  
おま●こがヒクヒクして……♡)



おっぱいおっぱいおっぱい.....♡

おっぱい.....♡

おっぱい.....♡

おっぱい.....♡

おっぱい



はー、はー……  
イ、いった……♡

挿れられた、だけなのに……

余のおまこ  
簡単にイって♡

おおっ、おおっ♡

ま、待てっ♡  
余は、まだイッたばかりでっ……

んおおっ、おおっ♡

これ、このチ●ポっ♡

余をメスにした  
マスターの、おち●ぽっ♡

余の、弱いトコロ  
何度も、抉ってくるっ♡

はー、はー♥  
や、やめっ……もうやめっ♥

き、気持ち良すぎて……  
あたまが、おかしくなるっ♥

あんっ、あんっ♥  
もうダメ、だっ……♥

あ、あ♥

あ、あ♥

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

マスターの本気ち○ほで  
イカされりゅうっ♥

おおっんおおおおつ♡

はっはっ、マスターの射精っ♡

ビュッ♡

余の、好きなたつ……  
マスターの、チ●ポっ……♡

あっん、なかだし、されっ……

ニャッ♡

こんなに出されては……  
マスターの赤ちゃん  
はらんでしまっ……♡

♡♡♡  
♡♡♡  
♡♡♡



ふー……ふー……  
おま●こ、溢れて……

ふふ……やはり貴様は  
余が一番であるようだな……♡

何を言っている

マスターが好きなのは  
わたしの方だ

そうに決まっている

いや、当然余が二番だ

だろう、マスター……？

（お、俺は





























ティアマトを選ぶ

ドラコーを選ぶ

































